

高知県金融経済概況

【概 論】

高知県の景気は、緩やかに持ち直している。

前回の概況公表時（7月中旬）以降の県内景気をみると、個人消費は堅調に推移している。観光は持ち直している。公共投資は横ばい圏内で推移している。設備投資は持ち直しの動きが続いている。住宅投資は緩やかな持ち直しに転じている。この間、製造業の生産は一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移している。そうしたもと、労働需給は引き締まった状態となっている。雇用者所得（名目ベース）は着実に増加している。

先行きについては、緩やかに持ち直していくとみられる。ただし、①コスト上昇と価格転嫁の動向、②人手不足の影響と賃金の動向、③各国の通商政策等の今後の展開とそれに伴う生産や企業収益への影響等について、注視していく必要がある。

【各 論】

1. 需要項目別の動向

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、月々の振れを均せば横ばい圏内の動きとなっている。

設備投資は、持ち直しの動きが続いている。

2024年度の設備投資額（25/6月短観）は、製造業を中心に前年度を上回って着地（全産業前年度比：+34.8%）。

2025年度の設備投資額（25/6月短観）は、2024年度の大型投資の反動がみられるもとで、製造業を中心に前年度を下回る計画となっている（同：▲32.5%）。

この間、企業からみた生産設備や営業用設備の過不足感（25/6月短観）は、過剰超となっている（生産・営業用設備判断D.I. <「過剰」－「不足」>：+2）。

個人消費は、堅調に推移している。

大型小売店¹、コンビニエンスストアの販売動向は、堅調に推移している。家電量販店の販売動向、乗用車新車登録台数は、持ち直している。旅行取扱高は、基調としては持ち直している。

観光は、持ち直している。

25/7月の県内の主要観光施設への入込客数(25/7月前年比:▲1.2%<速報値>)は、前年を下回った。主要旅館・ホテルの宿泊客数(同: +0.6%)は、前年を上回った。

住宅投資は、緩やかな持ち直しに転じている。

2. 生産

製造業の生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移している。

機械は、一部で弱めの動きとなっている。食料品、パルプ・紙・紙加工品、鉄鋼は、緩やかに持ち直している。窯業・土石製品は、減少している。

3. 雇用・所得

労働需給は、引き締まった状態となっている。

企業からみた雇用人員の過不足感(25/6月短観)は、不足超となっている(雇用人員判断D.I.<「過剰」－「不足」>:▲33)。

雇用者所得(名目ベース)は、着実に増加している。

25/6月の1人当りの現金給与総額は、前年を上回った(25/6月前年比: +1.4%<速報値>)。

4. 物価

消費者物価(高知市、生鮮食品を除く総合)の前年比は、足もとでは3%台前半となっている。

5. 企業倒産

企業倒産は、感染症拡大前の水準となっている(25/8月:倒産件数1件<前年4件>、負債総額10百万円<同700百万円>)。

¹ 県内の百貨店、ショッピングセンター、スーパー等。

6. 金融

実質預金（銀行、信金、信組）は、前年を上回っている。

貸出（同）は、前年を上回っている。

貸出約定平均金利（銀行、信金）は、緩やかに上昇している。

以 上

【本文中の使用計数等の出所】

- ・ 主要観光施設への入込客数：高知県「月別観光施設利用実績」、現金給与総額：高知県「毎月勤労統計調査地方調査」、消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）：総務省「消費者物価指数」、企業倒産：東京商工リサーチ「高知県企業倒産状況」。
- ・ その他の項目は、日本銀行高知支店が個別に収集したもの。
- ・ なお、利用統計は公表月によって異なる。